

## 話題のエチオピア産パライバトルマリン

注目を集めたのは、6月香港ジュエリーショー初日の18日にスイスの鑑定機関SSEFよりアラートと言う形で発表された、エチオピアからブラジル産と酷似した成分を持つパライバトルマリンが産出したというニュースでした。ちょうど香港ショーにいたので会場で探してみましたが、話題は有れど現物はなく、残念ながら見る事が出来ませんでした。

帰国後、次の出張先であるバンコクに赴いた時のことです。24日に到着して買い付けをして、25日の朝に「面白いものがあるから見に来な」と友人に声を掛けられるがまま見に行った先に逢ったものは…エチオピア産トップクオリティの原石10石！ライトを使いルーペで覗きましたが、内包物がほとんど見られない真のクリスタルと呼んでいい、綺麗な結晶。加熱処理もする必要のない色合いで、カット・ポリッシュを待っているだけの状態でした。翌日には著名なフィールドジェモロジストのVincentが見に来てレポートにまとめていましたが、彼より先に見たのはタイミング。トルマリン特有の表面の筋状の生地が残っている原石は、表面近くの外側に多くの鉄分を含んでいるため色が濃く、インディゴライトのような色合いです。カット石にする際には表面の鉄分が多すぎる部分は落して、中の銅が含まれている部分の色が出るようにカットすると聞きました。分析をするとブラジル産に比べて鉄分を多く含み、マンガンの含有量が少ないという説明も聞きました。その辺の元素をプロットすれば、ブラジル産との見分けも難しくない感じです。また、色合いがインディゴライトとも似ていることから、現地では混ぜて売っている業者もいるため、ハンディーX線蛍光分析機等が必要で、原石に銅が含まれているか確認してからの購入が必須だと言っています。

発見のキッカケは、なんと自宅にトイレを増設しようと掘った地面から出て来た石💎あまりに綺麗だからと調べてみたら、今回のような大事件に!! 現在周囲を含めて25ヶ所くらいで掘削されているようですが、写真のような宝石になる原石は元々の所と、そこから川を挟んだ辺りだと聞いています。小さな原石ばかりで、大きなモノは本当に稀ですが、何と原石のオーナーは10ct以上のもっていました!!

朝に見せて貰いましたが、その中の一石が14:30に初のカットストーンとなったモノを見ました!! カットのクオリティよりも、ct数の歩留まりを重視したというカット石は、1ctをキープしたクリーンな石でした。カット石（もちろん原石も）の所有者、原石からカットしたカッター、カットの指示者のみんなを知っているから面白いです。バンコクにいと、とてつもないモノを見るチャンスがあります♪ 多くの人が原石の写真をシェアしていますが、原石の実物を見られたのは友人がいてのこと。さらに原石からカット石になるのを見られたのは、世界でも数少ない人間!! 人の繋がりに感謝です。